

2021. 4. 19

Report from
AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

ニリンソウの季節終了！ 林は早くも夏模様

4/12 ニリンソウとヤマブキソウが見事に咲き
分けていた大門ニリンソウ自生地 ↓



↑ 1週間後の 4/19、両方とも盛りを過ぎて、林の様相が変わってきました

ニリンソウとヤマブキソウに代わって林の中でひときわ
目立ってきたのは、葉が大きく背丈も高いハナウドです。

4/19 には下の写真のようにまだ蕾でした



が、1週間
もしない
うちに花
が開くで
しょう。白
ですが花
火が散っ
たように
きれいな
姿になります。→



やっぱり、例年より2週間早い植物の動き

このレポートでは度々、植物の動きが数年前よりも早くなっていることを伝えてきました。10年前の4月中頃はニリンソウは最後の見ごろ時期にあって、ヤマブキソウがようやく咲き始め、4月の下旬にヤマブキソウが主役になるという順番だったのですが、今年は二つの花の最盛期が同時進行し 4/12 がピークでした。このままでいくと5月の連休前には二つとも花を終えてしまいそうです。10年前よりは確実に2週間早くなっています。

これはニリンソウやヤマブキソウばかりではありません。前ページに紹介したハナウドは本来ならばニリンソウが消えた後に咲いていたもの。そして、赤塚城址では通例ならば連休中に満開になるギンランがもう咲き始めました。なんと、人が歩く園路にはみ出して咲いています。とても貴重な植物、大事に保護してきました。

みなさん 踏みつけないで、取らないでね↑



めったに見られない花



最近まで何の木だか名前が分からなかったのですが、左がカマツカの花の蕾。漢字で鎌柄と書き鎌



の柄に使われたほど固い木のようです。次回のモニタリングでは花は咲き終わっているかも。

右上はサワフタギの花。写真ではわかりにくいですが、真ん中の白い糸のようなもしやもしやは雄蕊です。沢蓋木と書くのだから、山の中では水が流れている沢に蓋をするようにいっぱい咲いているのでしょう。

←カキドオシの花が例年になく咲き広がっています。丸い葉を地を這うように伸ばしているのですが、花をじっくり観察できる機会はそうそうあるものではありません。

次回のモニタリングは 5/3 (月) 9:00 ため池公園梅林下スタート